

火災から文化財を守ろう！



文化財防火デーを知っていますか？

今から 74 年前の昭和 24(1949) 年 1 月 26 日に、奈良県にある法隆寺の金堂が炎上し、仏教絵画の代表作ともいえる壁画が焼損したことから、毎年 1 月 26 日は「文化財防火デー」に定められています。

沖縄県の首里城やフランスのノートルダム大聖堂など、近年の歴史的建造物の火災による焼失は、みなさんもお存じのことでしょう。建造物は当時の人びとの技術や知恵、歴史がいたるところに残されている貴重な文化財です。

文化財防火デーの前後には文化財防火運動が各地で展開されています。国登録有形文化財の小澤家住宅でも、消火器の取り扱いなど、初期消火に備えた防火指導などがおこなわれました。春先は乾燥して火災も起こりやすい季節です。火の取り扱いに注意しましょう。

小澤家住宅は、当地域の名主屋敷構えを今に伝える茅葺民家です。現在も自宅として使われていますので普段見学はできません。今年も見学会を開催する予定ですので、その際にはぜひご参加ください。小澤家住宅のお問い合わせは文化財センターまで。

「美浦かるた」で知るみほの文化財

今回の札は「め」

名馬たち 光かがやく 美浦トレセン

「美浦村といえどトレセン」と県内では広く知られています。全国的にも競馬ファンであれば美浦トレセンを知らない人はいないでしょう。

毎年、中山競馬場では「美浦特別レース」が開催され、それに伴う物産展で美浦をPR。レースの優勝馬は、役場付近で垂れ幕や電光掲示板、広報みほで紹介され、村内では名馬やそれを支える人々の活躍を知る機会も多々あります。

トレセンと美浦村とのかかわりは55年ほど前にかのぼります。その頃、中央競馬の競走馬は競馬場に付随して厩舎が設置されていました。都市化が進み競走馬を飼育できる環境でなくなってきたことから、関東では東京競馬場と中山競馬場の所属競走馬を調教できる場が検討されることになったのです。昭和43（1968）年に美浦村への誘致が決まるとすぐに用地の確保が始まり、工事は昭和45（1970）年、進入路から進められました。

競走馬2,000頭、関係者とその家族約5,000人が転入してこることになり、村は急ピッチで公共施設を整備しました。教育施設では大谷小学校を現在の場所に建設、美浦幼稚園と大谷保育所を新築、美浦中学校も増築されました。昭和49（1973）年には開場前のトレセンを会場に、茨城県開催の第29回国民体育大会「水と緑のまごころ国体」の馬術競技がおこなわれました。

関係者の移動は、昭和53年3月7日から約1ヶ月

にわたりおこなわれ、4月10日、桜の花が咲き乱れるつらかな春の日に、盛大に開場式が挙行されました。

昭和30年代に人口8,000人余りで過疎化が進んでいた美浦村は、一気に約13,000人となり、トレセンの開場を機に美浦村は大きく変わりました。信太と興津にまたがっていたトレセンエリアは、新たな大字「美駒」が誕生しました。

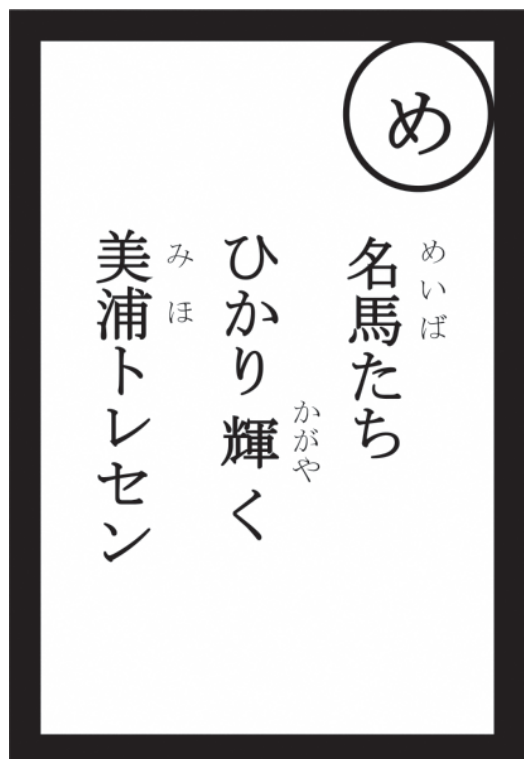
トレセンの広大な敷地は、古代の人々の生活の舞台でもあったようで、当時確認されていた古墳は美駒古墳群として現在も残されています。その後、施設建設に伴う発掘調査では、県指定文化財の信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器はじめ、役所や寺院跡に伴う遺物が出土し、記録に残る小字名からも古代において重要なエリアであったことをうかがわせます。

参考文献 「日本中央競馬会美浦トレーニングセンター開発の記録―その生い立ちと発見の軌跡―」平成10（1998）年 美浦村

「美浦かるた」は、共に輝くみほの会（美浦村女性行政推進協議会）が制作した美浦村の魅力を紹介したかるたです。美浦かるたは美浦村HPでみることができます。

子育て・教育→図書室→美浦かるた で検索！

<https://www.vill.mihoko.lg.jp/page/page001902.html>





コロナ禍での 体験講座・職場体験・出前体験



新型コロナが終息したわけではありませんが、今年度、文化財センターは参加者の協力を得ながら体験事業をおこなうことができました。秋以降は、体験を希望する近隣市町の学校や団体も増え、体験を通して初めて美浦村を訪れる子どもや親子が多くみられました。10月からは連続講座の古文書講座、12月にはクズの蔓を使ったつるかご作りやミニ門松作りをおこないました。



▲古文書講座



▲つるかご作り



▲地元の竹を使った門松作り

美浦中学生職場体験

7月に美浦中学生が文化財センターで、文化財の調査にかかわる仕事を体験しました。陸平貝塚のある美浦ならではの縄文時代の貝塚資料、江戸時代の絵図や古文書を扱いました。貝塚の貝を分類したり、江戸時代の絵図の複製を作ったり、古文書の虫食い部分の補修などの作業を体験しました。



▲貝塚の貝を分類



▲古文書の虫食い箇所を修理



▲絵図の複製作成

安中小学校で土器作り・古代米作り

安中小では6年生が今年度も陸平貝塚で縄文時代の学習をして縄文土器を作り、1月に野焼きをして完成させました。5年生は、学校の敷地内に作った田んぼで、6月に田植え、秋に稲刈り・脱穀をおこない12月に糲摺を体験しました。体験指導でかかわった陸平をヨイショする会の方々も、久しぶりに児童と触れ合う機会となりました。



▲縄文土器作り



▲縄文土器野焼き



▲鎌を使って古代米稲刈り

陸平物で陸平貝塚をPRしよう！！

オリジナルグッズ～おか だい いら もの陸平物～好評発売中！

前号でご紹介した新オリジナルグッズの焼物「陸平物」は、1月より文化財センターにて販売しています。釉薬に縄文時代の貝殻を使用していることが、ほかにはないこの焼物の特徴です。

器形は、陸平貝塚から出土した縄文土器を基調に、普段使いしやすい形状としました。また白化粧土で、貝層や浜辺などを表現し、色は縄文時代当時、貝塚周辺に広がっていた海をイメージした青としました。

＜陸平物＞

セット 7,500 円
(コップ2、小皿1、小鉢1、箸置き2)

小 鉢 1,500 円

小 皿 1,000 円

箸置き（双口土器） 500 円

＜取扱場所＞ 文化財センター



※ひとつひとつ手づくりのため、形や文様など微妙に違いがあります。

※釉薬は、美浦村大谷貝塚出土貝殻を使用しています。

梅朝基礎落語

好文亭梅朝さんの落語で
楽しいひとときを！

- ◆日にち 3月5日（日）
- ◆開 演 午後1時30分から
- ◆場 所 文化財センター
- ◆定 員 20名（要申込）



※当日、席に余裕がある場合、参加可能。

＜情報をお寄せください＞

美浦村の歴史に関する資料を探しています

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝える活動を行っています。美浦村の歴史に関する古文書や絵図、地図、写真等、また古い襖（古文書が使われている場合があります。）などがありましたら、処分する前に文化財センターへご一報ください。



◆申込・お問合せは、文化財センターへ

☎029-886-0291

イノシシ注意！

陸平貝塚公園内ではイノシシが確認されています。捕獲のためワナをしかけている場所があり、目印で表示してありますので進入しないようお願いいたします。

イノシシは日中でも目撃されています。

散策される方はご注意ください。



陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car

常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus

JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

